

矢川ってどんなところ？

国立市は地域の賑わいや、子育てを中心とした複合施設「(仮)矢川プラス」の工事をはじめました
(2023年オープン予定)



2022年3月の様子



国立市立矢川児童館

～0歳から18歳までの子どもとその保護者のための児童館に地域との関わりについてお話を伺ってきました～

子どもが自由に来て、主体的に遊ぶ場所だからこそ、児童館が中心となり地域全体で子どもを育てる必要がある。なにかあったら児童館！と誰もが思えるように、まずは地域に開かれた場所でありたい。児童館ではそんな思いを持ち商店街のみなさんと交流を重ねている。矢川商店街の一大イベント「サマーナイトデイズ」では子どもたちがゲームコーナーを担当し、地域のおまつりを盛り上げました。ミステリー探検では矢川地域を探索したり、ハロウィン時には仮装し防災を呼びかけながらパレードした。

児童館では行事を企画する段階でまず子どもたちに何がしたいか、聞くことから始まる。コロナ禍で学校行事も縮小されている中、「みんなで色々なところに行きたい！」と意見があり商店街のみなさんにも協力していただき、11月には“ウォーキングラリー”を開催。2週間、周辺にクイズを貼り出しそれを子どもたちが楽しみながら解いていく。商店街のみなさんは自然と声をかけ見守ってくださり、まさに地域の中で子どもが育っている。高校・大学生になりボランティアとして遊びに来てくれる子もいる。身近な児童館だからこそ人と人が関わることで得られる温かさや安心感を子どもとその保護者にも体験してもらいたいと考え、地域にとっての家のような存在でありたいと、児童館への思いを語ってくださいました。市内には他に、中央・西児童館があります。是非お近くの児童館に行ってみてはいかがでしょうか？



矢川商店街を紹介

第4弾は
お米屋さん

先々代が谷保地域で始めた三田食糧。矢川団地が出来た昭和47年から矢川の地で店を構え、矢川団地と共に月日を重ねてきた通称“ナック”さん。ナックという食料品を中心に文房具や雑貨なども扱うチェーン店であった。今のようにコンビニも少ない中、手作りのおにぎりやお惣菜を手がけ、皆さんからも便利だと重宝された。現在は本業である米を中心に自然食の販売も行っている。

全国優良産地の様々な品種のお米を揃え、減農薬米も多く扱っている。白米はもとより、玄米のままや栄養豊富な胚芽を残した胚芽米など、好みに応じて調整できるのも小売店の良さである。市内の公私立保育園にも納品しており、子ども達は7分搗きの胚芽米を食べている。「子どもがおいしい！というので買いに来ました」というお客さんもあり、安心・安全な食品を子どもたちに届けているという自負がある。

保育園の行事で園児が買い物にきてくれたり、小学校のまちたんけんで児童が精米の様子を見に来たり、以前は職場体験に来た中学生が、一緒に米の配達なども体験していた。「子どもたちが商店街を利用してくれるのは、賑わいがあり活気があって嬉しい！」と話してくださいました。



1kgから購入可能



店主の三田さんご夫妻



会計している間に精米

～編集後記～
ここすき！通信6号をお読みいただきありがとうございました。身近な絵本の特集でわくわくしながら取材させていただき、久しぶりに我が子に絵本を読んでみました。思春期をそろそろ卒業する息子が、昔を懐かしむかのように聞いている姿に、親子の絵本タイムが日課であった十数年前を思い出し、ほっこりとした時間になりました。将来、息子が自分の子どもに絵本を読む時、私との絵本タイムを思い出してくれるかな？図々しくもそんな事を思い、やはり絵本は良い！と改めて感じました。



ここすき！通信

2022年 第6号

社会福祉法人
くにたち子どもの夢・未来事業団

今回のテーマは…



はたこうしろう先生

絵本作家のはたこうしろう先生に絵本の魅力についてお話を伺いました。ここすき！の写真と共に魅力のポイントをお伝えします。

絵本は、子どもからお年寄りまでの幅広い世代で楽しみ、普段出会わないことに出会うことができる。絵本を通して疑似体験ができるのも魅力。



絵本の良さは“動かないこと！”
動くアニメと違い自分のペースで、立ち止まったり、見返したり、思考をめぐらせる。



絵本は読んでくれる人とコミュニケーションを深められる。ゆっくり進むので、会話が生まれ子どもの反応をみながら脱線するのも楽しい時間。



おしえて！はた先生！！
数多くの絵本を出版されている、はた先生。絵本を作る際どんなことを大切にしているのですか？



～付録～
“ねえ、どれがすき？”
はた先生にアドバイスをいただき、素敵な絵本ができたよ！



私は文章から先に作る事が多く、絵本はページ数も少ないので、短い文章でどうやってこのテーマを伝えようか苦心する。昔は遊びの中で自然と知恵が働き、異年齢で遊ぶ事も多く、いろいろなことが伝承されていった。絵本を読んだあと「外にでたい！」「やってみよう！」と思える本を多く作っており、絵本を通して遊びを伝承していきたい。